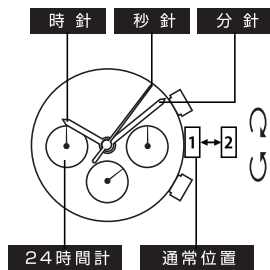


POLICE

PL.15412 SERIES INSTRUCTION MANUAL

時刻の設定について



時刻の設定

1. 秒針が12時の位置にある時にリュウズを2の位置まで引き出します。
2. 午前か午後を考慮してリュウズを回して時分針を正しい時刻に合わせます。
3. リュウズを通常位置まで押し戻します。

防水機能について

3 ATM 日常生活での汗や洗顔のときの水滴、軽い降雨などで一時的にかかる水滴に耐えられるものですが、水道からの水を直接当てたり、水泳やダイビングなどのご使用は避けてください。
ご使用状況によっては浸水する可能性があります。

10 ATM 水仕事やスキューバーダイビング(素もぐりを含む)以外のマリンスポーツに耐える構造ですが、ご使用状況によっては浸水する可能性があります。

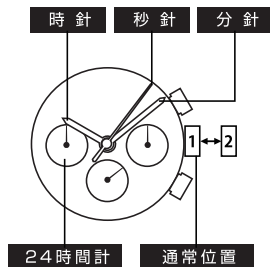
防水機能について

リュウズは常に通常位置に設定してください。
ねじ込み式リュウズは完全に閉めた状態で着用してください。

水中ではボタン操作、時刻合わせ、ベゼル回転させるなどの動作は行わないでください。
また時計が塩水に浸かった場合は使用後、必ず真水ですすいでください。
風呂、サウナ内での着用、及び放置は避けください。
高温と湿度(水分)が組み合わさることにより防水機能に支障が生じる場合があります。

- ・時刻設定時の上級テクニック。
- ・24時針は、時針につれて動きます。
- ・時針を設定する時は、24時針が正しく設定されているか確認します。
- ・分針を設定する時は、先に希望時刻より4～5分進めてから正確な時刻に戻します。

時刻設定の上級者テクニック



時刻設定の上級者テクニック

- ・24時間計は時針・分針と一緒に動きます。
- ・時針を設定する時は、24時間計が正しく設定されているか確認します。
- ・分針を設定する時は、先に希望時刻より4～5分進めてから正確な時刻に戻します。

注意

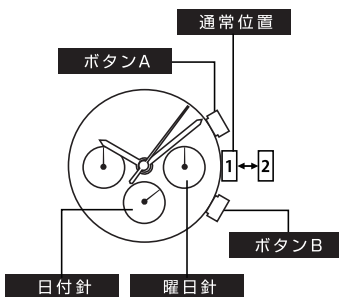
時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部より低い温度のときは、ガラスの内側にくもることがあります。一時的なくもりの場合は支障ありませんが、長時間くもりが消えない場合はそのまま放置をせず、ご購入店へご相談ください。

濡れた手、または水中でのリュウズ操作による浸水や防水性能を超えた水圧による浸水は、保障期間内の場合でも有償修理となります。防水性能は、あくまでも目安です。

表示してある状況下であっても振動・運動によって水圧が付加され、耐用気圧を超えることがあります。このような場合は、故障・損傷の原因となりますので充分にご注意ください。
水中および時計や手に水分がついた状態でリュウズの操作を行うと、時計内部に水(湿気)が入る原因になります。

ご使用の際は、リュウズが「通常使用ポジション」にあることを必ずご確認ください。
リュウズが他のポジションにあると防水性が保たれませんのでご注意ください。

日付と曜日の設定について



日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. ボタンBを押して正しい日付に合わせます。
※1回押すごとに日付針が1日進みます。
3. リュウズを通常位置まで押し戻します。

曜日の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. ボタンAを押して正しい曜日に合わせます。
※1回押すごとに曜日針が1日進みます。
3. リュウズを通常位置まで押し戻します。

日付・曜日設定のご注意

- ・午後9時から午前4時までの間に日付針と曜日針の設定を行うと正しく動作しない場合がありますので、行わないでください。
- ・日付針と曜日針の設定時には、針が1日ずつ進むことを確認してください。
- ・30日の月と3月1日は日付の調整が必要です。